

企画総務委員会

３月定例会の報告



委員長：犬飼勝博　　**副委員長：山本道代**

委　員：稲垣一夫　本郷照代
大塚久美子　松崎隆治
小林孝幸　福西章人

企画総務委員会は…

総合政策部、総務部、資産経営局、危機管理局、会計課、議会事務局、監査委員事務局、消防本部の所管に属する事項、および他の常任委員会に属しない事項　を所管しています。



総合政策部	秘書政策課　広報広聴課 人事課　情報政策課
総務部	総務課　財政課 税務課　収納課
資産経営局	資産経営課
危機管理局	危機管理課
会計管理者	会計課
議会事務局	議事課
監査委員	監査委員事務局
消防本部	消防総務課　予防課 指令課　消防署



３月分科会での主なテーマ

令和６年度一般会計予算における質疑からの抜粋

●SDGs推進事業の委託料について

●業務量調査業務の委託料について

●官民連携事業の効果について

●官民連携推進業務の委託料について

●懇談会事務・市政世論調査業務について

●結婚支援事業の取組みについて

●ふるさと納税推進事務費の減額について

●消火栓建設費負担金について

●市債の増加と財政状況について

●財政調整基金積立金利子収入について

●財政調整基金繰入金の減額と今後について

●特定小型原動機付き自転車について

●ドローン管理事業について

●消防団活動費の減額理由について

SDGs推進事業の委託料について



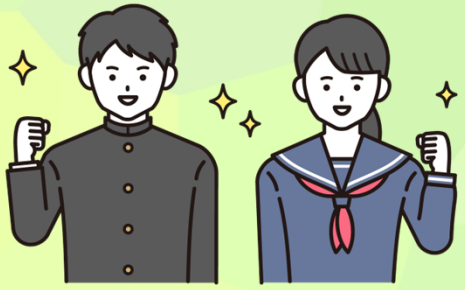
Q　SDGs推進事業の委託料の詳細は。
また、この事業に求める効果や周知方法はどのようか。

A　委託料は本市におけるSDGsの取組みを可視化するために最適な**ポータルサイトのコンテンツ利用料や、登録パートナーを対象とした勉強会や交流会の企画と運営委託料**を計上している。
効果は新たなパートナーシップの形成、持続可能なプロジェクトの展開などがある。
周知については新たなポータルサイトをフルに活かして、市全体のSDGs推進の機運醸成を図っていく。

懇談会事務・市政世論調査業務について

Q　市政懇談会や学生議会など各種懇談会を開催するとのことだが、これまでに寄せられた市民からの意見に対し、市政に反映した事例は。また、６年度の開催予定はどのようか。

A　寄せられた意見の中でも、日常生活に密着した課題や緊急性の高い課題は、実施に向け迅速かつ適切な対応に努めている。
市政に反映した事例について、中学生を対象に行う学生議会で出された２点について紹介すると、**にしおマラソンで特産品の販売を行ってはどうかという提案**をいただき、開催する際の参考にしている。



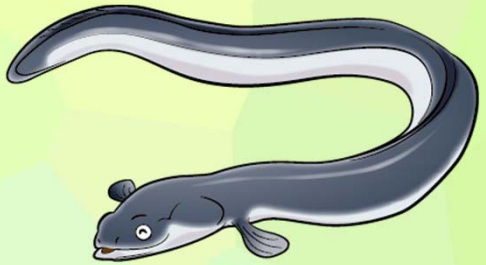
Ａ　また、**人気の学校給食メニューを気軽に楽しむことができるように身近なスーパーやコンビニ等で販売しないか、という提案**をいただいた。ローソンと調整を行った結果、イカフライのレモン煮弁当や西尾の抹茶を使用したスイーツなどの販売が実現した。



６年度の開催予定は八ツ面地区をはじめ**５地区で「市長と語る市政懇談会」を開催**する。また「学生議会」、「女性と語るまちづくりトーク」、「若者と語るまちづくりトーク」、「出張・市長のどこでもトーク」を引き続き開催する。

【令和６年度の市長と語る市政懇談会】開催地
八ツ面地区／三和・室場地区／横須賀・津平地区
中畑・平坂地区／一色中部・一色東部地区

ふるさと納税推進事務費の減額について



Q　ふるさと納税推進事務費が、前年度比で
１億5,605万円の減額になった理由はどのようか。

A　歳入総額は前年度と同様の22億円と見込んだものの、令和５年10月の制度改正に伴い、寄附金額の改定を行い、返礼品価格の割合を**寄附金額の一律30%から平均して26%程度に見直した**ことにより、返礼品代が8,800万円の減額になったことによるもの。また寄附金額の見直しにより、寄附単価見込みが増額となったものの、申込件数が減少すると見込んだことに伴い、**礼状や返礼品の発送件数が減少**し、送料等が1,095万円の減額になったことによるもの。

市債の増加と財政状況について



Q　市債が増加しているが、本市の財政状況についてどのように考えるか。

A　市債は83億5,200万円の計上で、前年度と比べ約30億円の増となっている。昨年度からの継続事業である文化会館長寿命化工事、平坂中学校校舎増築工事に加え、来年度の供用開始を目指す福地南部保育園建て替え工事、津波避難タワーの建設など、**先送りのできない事業による普通建設事業費の大幅な増**に伴い、財政負担の平準化や世代間の負担の公平性などの機能を持つ地方債を活用したことによるものである。

Ａ　しかしながら借入額の増加は、公債費として義務的経費の増加となることから、**将来負担を十分に考慮し、計画的に借り入れる必要がある**と考えている。

今後は、歳入確保と公共施設再配置を進めるとともに、社会情勢や市民ニーズを注視しながら、事業の抜本的な見直しや創意工夫を図り、**限られた財源を効果的かつ効率的に活用し、持続可能な財政運営に努めていく。**



財政調整基金繰入金の減額と今後について

Q　財政調整基金繰入金２億円の減額理由は。
また、今後の見通しはどのようか。



A　減額の理由は、普通建設事業費が大幅な増加となったものの、**マイナスシーリングなどによる経常的経費の縮減や、特定目的基金の積極的な活用**により、事業費の一般財源を縮減したことによるもの。

【マイナスシーリング】とは…
予算の概算要求などにあたって、前年度より一定率を減じたものを要求限度とすること。

A　昨年度の当初予算では、財政調整基金へ26億円の繰り入れを予定していた。その後、６月２日の大雨により被害を受けた市道などの災害復旧工事の財源として、約１億7,800万円を増額したものの、９月補正で約10億7,800万円を減額し、さらに３月補正で12億円を減額したので、最終的には５億円の繰り入れとなり、**年度末の基金残高は約65億円3,000万円となる見込み。**

財政調整基金は**年度間における財政調整を目的としているので、長期的な見通しは難しい**が、可能な限り取り崩しをせず、災害の発生など不測の事態への備えとして一定規模の基金総額を確保できるよう、引き続き健全な財政運営に努めていきたい。





以上で報告を終わります。

ご清聴
ありがとうございました。

企画総務委員会

